患者会と製薬企業のパートナーシップ PJ

2020年8月1日（土）午後1時～3時半

ウェブ（zoom）ワークショップ　無料

申し込み先リンク　https://forms.gle/Kytb7192NyEVMqYE8

参加申し込みの方には後日URLをお送りします

対話：新たなパートナーシップを求めて

「医薬品の価値」は、「病気をもつ人の経験価値」が、開発やマーケティングに活かされることによってより発揮されます。

病気をもつ人が、医薬品のライフサイクルのいろいろな場面に参加することによって、アンメットニーズが解消し、医療の質が向上します。

そのためには、互いのニーズや希望を知り、相互理解し合うことが必要です。

本年5月に実施した「患者団体と製薬会社の協働に関する調査」によって、両者の意識の隔たりが明らかになりました。隔たりをなくする第一歩が「対話」との意見が多数ありました。

8月1日は、病気をもつ人と製薬関連企業で働く人の「対話」の場です。

プログラム：

「患者団体と製薬企業の協働に関する調査」結果報告

ウェブカンファランスeyeforpharma 2020

「患者団体と製薬企業のパートナーシップ」講演概要紹介

対話：グループワーク

病気をもつ人と製薬関連企業で働く人が
相互理解するために何が必要か

主催：JPPaC

協力：一般社団法人　ピーペック

医薬品イノベーション研究会

NPO法人
患者中心の医療を共に考え
共に実践する協議会